

歩行者や自転車の快適な通行が実現！

歩車道境界ブロック 一体型多機能側溝

排水対策もばっちり！ 両側スリット

防草対策もばっちり！

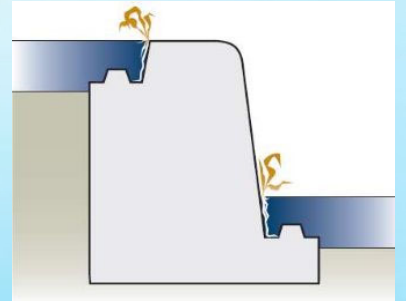
街の景観もキレイに！



ここがポイント！

突起とアスファルトがかみ合うため、伸縮や振動による隙間が生じにくい！

アスファルトの隙間から草の種子や土砂が入って成長しかけても、突起により根が張れないので枯れてしまいます！



施工も簡単！

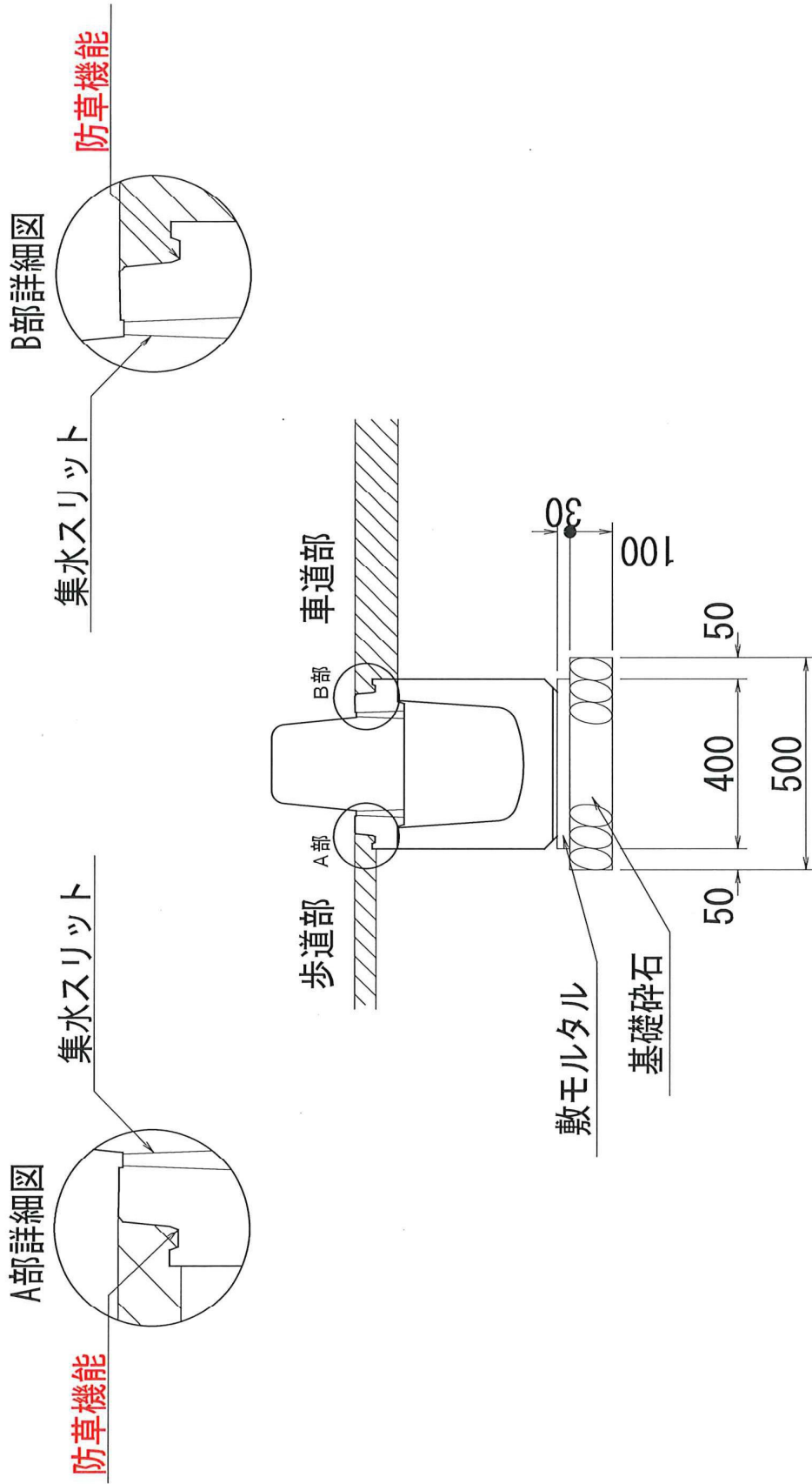
側溝の上に置くだけ！

境界ブロック下面に突起があるのでズレません！

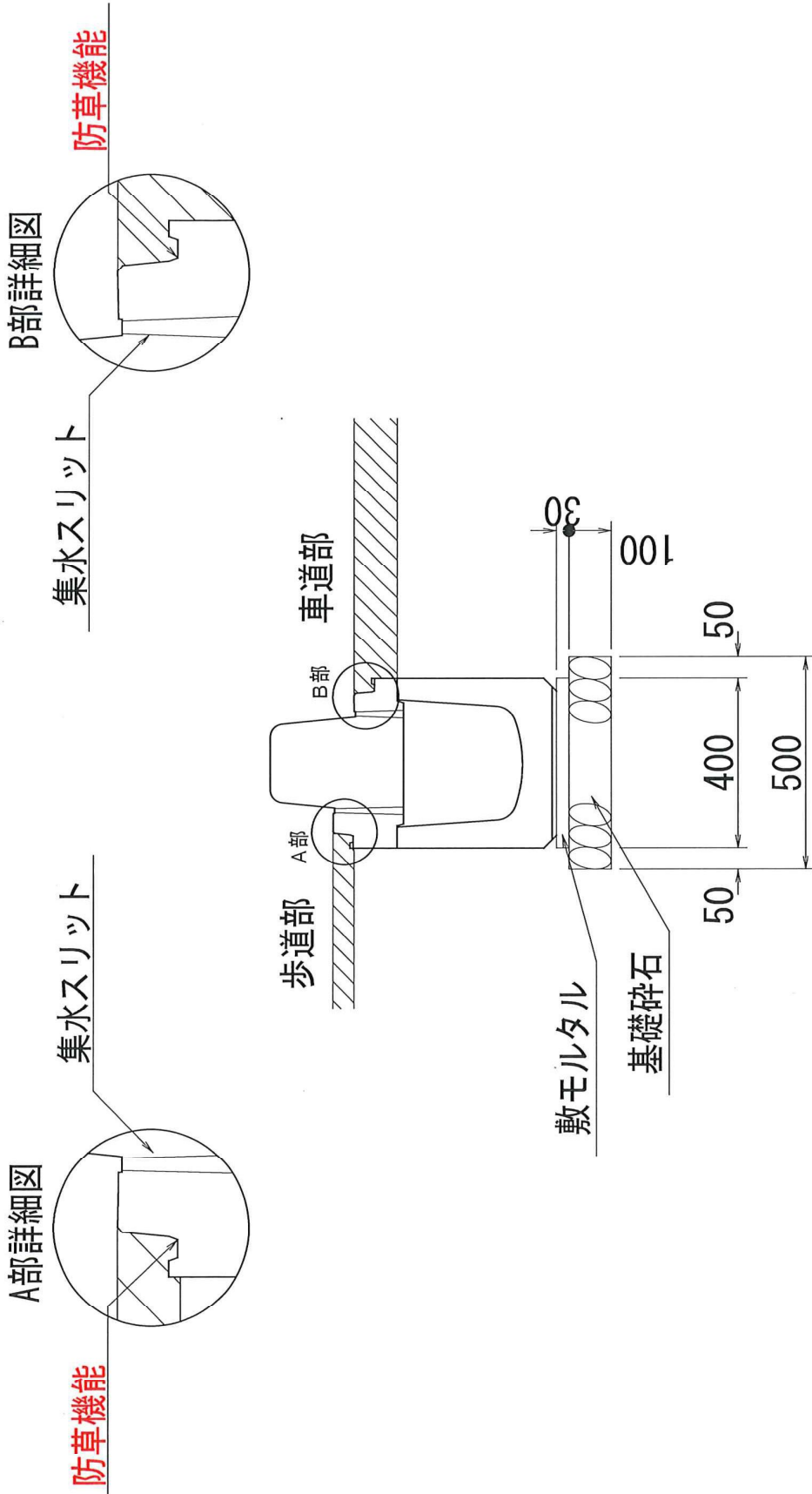


◎車道部・歩道部の防草対策及び水溜まりを解消し
利用者の快適な通行を確保します。

防草型歩車道境界ブロック構造図 フラットタイプ



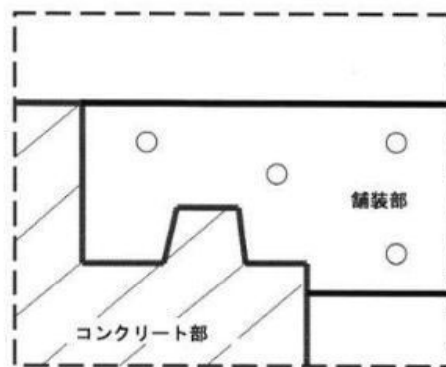
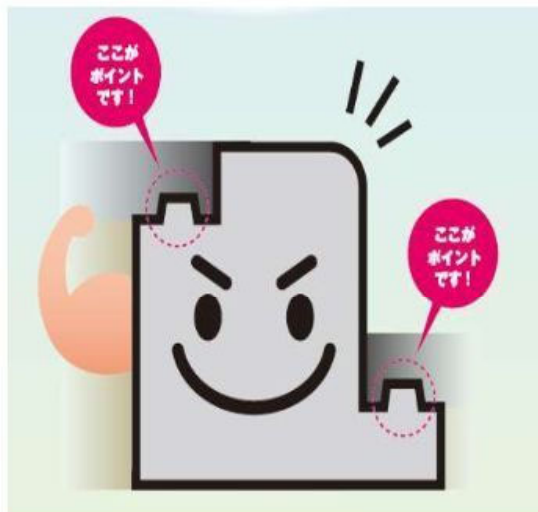
防草型歩車道境界ブロック構造図 セミフラットタイプ



「雑草防止工法」とは

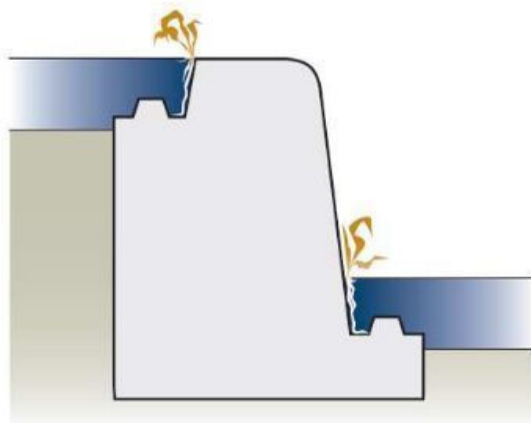


- ・コンクリート二次製品(歩車道境界ブロック等)と舗装の間から雑草が生えるのを防止する目的で開発された「防草機能を有する技術」です。
- ・ブロックの一部を張り出し形状にして水平部分に突起を設け、ブロックと舗装とオーバーラップさせる構造です。

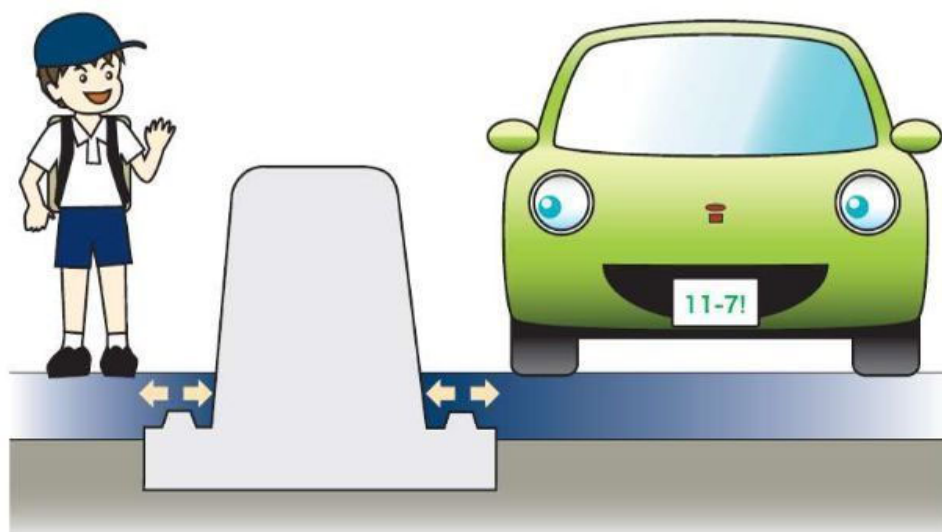


主な効果は次の2点です。

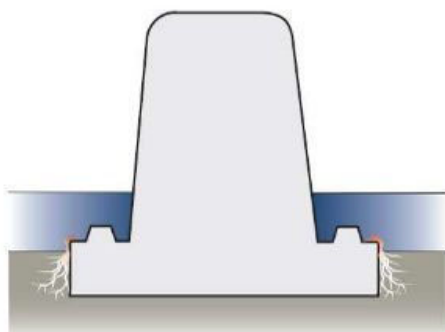
(1)コンクリートとアスファルトのすき間の上部から、草の種子や土砂が入って成長しかけても、下にコンクリートがあるので枯れてしまいます。



(2)コンクリートブロックの突起とアスファルトがかみ合うため、収縮や振動による隙間が発生しないので雑草が生え難くなります。



【参考】こういったケースはあまり無いと思われませんが、仮にアスファルトの下から雑草が伸びようとしても突起部が邪魔をして、その伸長を妨げる構造になって居ます。



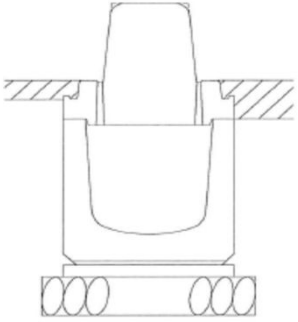
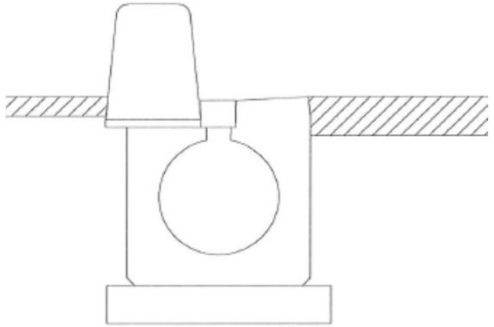
以上を一言で言うと

「平部分に設けたブロックの突起部が舗装と噛み合い、
雑草の根の成長を妨げ、枯らす**「防草機能を有する製品」**
です。」

鳥取県米子市内 防草型歩車道境界ブロック施工状況



水路改修工法比較

		新技術新工法 第1案 歩車道境界ブロック一体型多機能側溝案		従来技術 第2案 円形水路+歩車道境界ブロック案	
概略図					
	側溝断面300×300(mm)		側溝断面φ300mm		
概要・特徴	<ul style="list-style-type: none"> •U型側溝設置後防草型縁石一体蓋を設置する。 •蓋に歩車道境界が一体となっているため省スペースで設置が可能。 •歩道・車道共にスリットが入っており集水機能に優れる。 •蓋形状により防草機能を有しており、雑草の生育を抑制し維持管理に優れる。 •製品と舗装の段差が起こりにくい。 		<ul style="list-style-type: none"> •円形水路設置後歩車道境界ブロックを設置する。 •車道部にスリットがあるため、歩道部の路面排水は水抜き部にて車道側に導く必要がある。 •防草機能はない。 •製品と舗装に段差が起こると集水効果が損なう。 		
経済性		(10m当たり)		(10m当たり)	
	U型側溝据付(製品単価含)	117,600円	◎	円形水路設置(製品単価含)	240,100円
	多機能歩車道境界ブロック設置(製品単価含)	117,300円		歩車道境界ブロック設置(製品単価含)	65,250円
	合計	234,900円 (77%)		合計	305,350円 (100%)
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> •従来工法に比べ経済性に優れる。 •集水機能に優れる。 •防草機能を有する。 		◎		△

多機能側溝



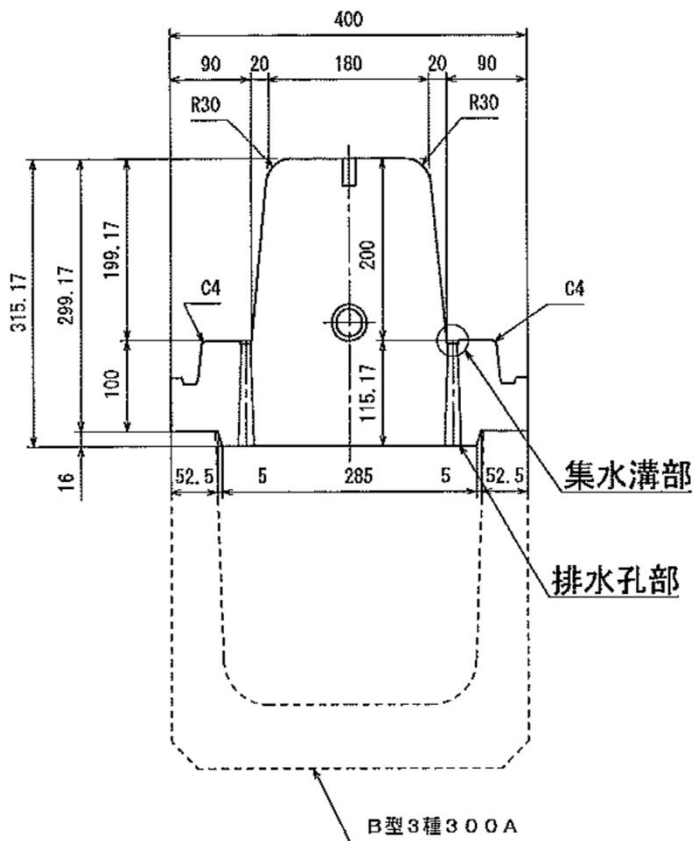
近年多発するゲリラ豪雨



排水孔にゴミが溜まってはその機能を発揮できません。ゴミが溜まり、雑草が生えたら街の景観も損ねます。

その機能

1. 下部の側溝は従来からあるU型側溝です。
2. 排水孔は下方へテーパー付でゴミが溜まりにくい構造です。
3. 縁石部は防草機能付きです。
4. 据付は側溝の上へのせるだけ。
5. 後に出入口を設ける場合も上部の交換が簡単です。



多機能側溝断面図



本 社 〒683-0846 米子市安倍200番地1 (平成ビル)
TEL (0859) 29-5511 (代表) FAX 29-4411